

新体操ナショナル選抜団体チーム・新体操個人日本代表 “フェアリー ジャパン POLA” ゴールドカラーでメダル祈願、自信みなぎる品格美を表現

パッシュョネイト

ビューティー

2016年 新メイク『PASSIONATE BEAUTY』発表

株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、社長：横手喜一）は、新体操日本代表「フェアリー ジャパン POLA」の2016年に行われる世界大会に向け、新メイク「PASSIONATE BEAUTY」を開発いたしました。

今回のメイクは、ポイントカラーでゴールドを取り入れ、大会への意気込みを表現。選手達が持つ“芯の強さ”を引き出し、上品さや華やかさを感じさせながらも、日本女性らしい品格のある美しさを表現したメイクです。

団体、個人共通で取り入れたフェアリーラインは、各選手がもつ美しさを引き立たせるように、描き方をそれぞれの選手に合わせて工夫し、目力をより強く演出。「他国に追従を許さない美しさで勝利を掴みとってほしい」という美容コーチの思いを込めました。

新体操の激しい動きや汗にも「崩れない」「15メートル先にいる審判員の目に最も美しく見えるメイク」を意識し、選手たちが「自信」をもち、勝利につながる演技をするためのメイクに仕上げています。

団体選手メイクのポイント

日本代表としての自信を宿す色使いにこだわり、アイメイクやヘアにゴールドをあしらってメダルへの情熱を表現しました。メンバーがまるで5つ子に見えるよう、個人差のある目元はアイラインで調整。15メートル先にいる審判員にも美しくアピールします。

①華やかさを盛り上げるカラーで、自信みなぎる美しさへ

アイカラーにゴールドを使用し、まぶたにきらめきを与えて華やかさを演出。意識したのは目指すメダルの色です。

演技の曲調に合わせ、パープルのアイカラーも併用。選手たちのもつ気品ある大人っぽい表情を引き出します。

リップカラーは、日本の国旗をイメージした発色の良い、艶感のあるジャパニーズレッドを使用。

大舞台に立つ選手達の熱く燃える想いをリップで表現。鮮やかな色味が白く美しい肌を引き立てます。

チークカラーは、ローズのチークを頬全体に入れることで、大人で上品な印象に仕上げています。

②“目力”を最大限に引き出す、繊細かつ大胆なフェアリーラインで女性の強さを表現

「フェアリー ジャパン POLA」のメイクのトレードマークである、目の縦横幅を強調する“フェアリーライン”。

“目力”をより高め、彼女たちの自信を表現しています。妖精の羽のように広がる曲線を描くことで、

目の大きさを更にアップさせます。

汗にも強いタイプのアイライナーで繊細なラインを描き、横顔までも美しく見せることにこだわりました。

③シンクロした美しさの鍵となるダブルアイライン

2014年から取り入れている、アイホールにもラインを入れるダブルアイライン。個人差のある目の大きさを調整し15メートル先にいる審判員から見て“5つ子”に見せるという、大事な役割を担います。

目の大きさが2倍になり、より自然な立体感を演出できるようになりました。

団体ならではのシンクロした美しさを表現します。

【報道関係のお問い合わせ先】

株式会社 ポーラ 宣伝部 TEL 03-3494-7119 / FAX 03-3494-6198 〒141-8523 品川区西五反田2-2-3

【お客さまのお問い合わせ先】

ポーラお客さま相談室（フリーダイヤル）TEL 0120-117111

2016年新メイク団体選手

メイク前
杉本 早裕吏 選手



ラメヘアジェル

ヘアには大粒のゴールドドラメが入ったヘアジェルをあしらいます。舞台のライトでドラマチックにきらめき、選手たちの横顔までも美しく見せます。

アイメイク



【フェアリーライン】

「フェアリー ジャパン POLA」のメイクのトレードマークでもあるフェアリーライン。目尻に妖精の羽のようなラインを描くことで目の縦幅と横幅を出し、目力を強調しています。

【アイカラー】

ゴールド&パープルを使用し、まぶたにきらめきを与えて、夢の大舞台に相応しい華やかさを演出しました。目指すメダルの色を意識しています。

【ダブルアイライン】

目力をアップさせるため、上まぶたにダブルアイラインを採用。個人差のある目元を調整する役割も。

フェイスカラー



ローズのチークをほぼ全体に入れることで、大人で上品な印象に仕上げています。

リップ



日本国旗をイメージした発色の良い艶のあるジャパニーズレッドを使用。大舞台に立つ選手の熱く燃える想いをリップで表現し、白く美しい肌を引き立てます。



個人選手メイクのポイント

皆川 夏穂選手

クールな色味のアイカラーを使用し、皆川選手の持つ美しい透明感を引き立たせます。繊細なタッチで描くフェアリーラインで目元に力強さを与え、勝利への情熱と自信を表現しました。色調整を何度も重ねた遠目にも映える鮮やかなピンクのリップで、曲調によって変化する選手の表情を審判員へアピールします。

①爽やかなスカイブルーのアイカラーで、クールなまなざしと芯の“強さ”を表現

彼女の持つ芯の“強さ”を表現するため、アイカラーは鮮やかに発色するスカイブルーを採用。ダークカラーに細かいラメの入ったネイビーを使用することで、きりりと締まった印象の目元に。クールなまなざしの奥に宿る勝利への情熱と自信をアイカラーで表現しました。

②繊細なフェアリーラインで目元に力を

フェアリーラインは目頭から目尻へ妖精の羽のようなラインが特徴です。目の縦横幅を強調し、目力を出すことで、目元から自信と品格あふれる女性を表現しています。

③肌の透明感を活かした艶のあるピンクリップ

透明感のある白い素肌をより美しく際立たせる、ピンクのリップを唇全体に。クールな目元とは反対に、甘さを加えて可愛らしく仕上げました。

早川 さくら選手

選手からのリクエストで、全体のトーンをブラウンでまとめました。骨格に沿ってベースメイクを作りこみ、少しダークな色味のチークを入れることで、立体的でシャープな印象に仕上げています。

早川選手の持つ、クールでハンサムな大人びた顔立ちを引き立たせながら、女性らしいセクシーさも感じさせるメイクです。

①“極太のフェアリーライン”でクールビューティーな表情を演出

こめかみに向かってぐっと引き上げた極太のフェアリーラインで、印象的な切れ長の目元を作り出します。下のラインは目尻を少し太くすることで、更に目力をアップ。クールビューティーでハンサムな表情を引き出します。

②情熱的な想いを表現するレッドリップ

リップは、明るいレッドを採用。一度見たら目が離せなくなるような、大人の女性のセクシーな魅力を演出。情熱的な表情を引き立てます。

③ローズチークで“骨格美人”な印象に

骨格に沿って、ブラウンカラーをベースに仕込むことで、立体的でシャープな印象に仕上げます。クールな印象に仕上がるよう、ローズチークはこめかみに向かってシャープに入れるのがポイント。

2016年新メイク 団体・個人選手 共通使用アイテム紹介

ベースメイク

ホワイティシモ リキッド ホワイト

6色 各30mL ¥4,500 (税込¥4,860)

[SPF20・PA++・ウォーターブルーフ・紫外線吸収剤フリー] 無香料

美白乳液のようにしっとり感触のリキッドファンデーション。
つややかでみずみずしい「絹糸美肌仕上がり」。
皮脂、汗に強く、美しい仕上がりを長時間キープします。



ホワイティシモ UVパクト ホワイト

13g ¥3,000 (税込¥3,240) <ケース別売 ¥800 (税込¥864) >

[SPF22・PA+++・ウォーターブルーフ]

化粧もちを良くするプレストパウダー。
ふわりと肌になじみ、時間が経つほど透明感が上昇。
化粧直しにも活躍します。



スキンケア

APEX

アペックスが27年間蓄積してきた、約1,600万件^{※1}の肌データをもとに、肌を細胞レベルから分析し、一人ひとりの肌に合ったスキンケアからベースメイクまでを提案する個肌対応^{※2}ブランド。スキンケアは256万通り、ベースメイクは3,600通りの中から一人ひとりの肌にあった製品を提案します。



※1 2016年1月現在

※2 肌に合わせてセレクトするシステム

美容コーチ

ビューティーサポート活動として、社内から選ばれた6名の美のエキスパートを美容コーチに任命。選手一人ひとりの顔立ちにあったメイクを指導するだけでなく、肌のチェックからスキンケアアドバイス、競技でくずれないヘアスタイルを細かく指導しています。



おぎの かずこ
荻野 和子



たなか このの
田中 琴乃



いいた えりか
飯田 絵里加



ます こうじ
榎 浩史



みやた まい
宮田 舞



ゆもと さちこ
湯本 幸子

新体操メイクの基本コンセプトは「崩れない、目力、立体感」

新体操のメイクでは、汗をかいても崩れないこと、選手全員の統一感、そして15m以上離れた審判員席や客席から見ても、インパクト・華やかさのあるメイクであることが必要となります。

そこで、「15m先から美しく見えること」を目標に「崩れない、目力、立体感」の3つを新体操メイクの基本コンセプトとして決めました。

この基本コンセプトをベースに、演技や衣装、音楽に合わせて、新しいメイクパターンを毎年開発しています。

「崩れない、目力、立体感」のポイント

■崩れないベース作りのポイント

崩れにくくするポイントは、リキッドファンデーションをしっかりとスポンジでたたき込むことです。軽いタッチで、何度も何度もたたき込むことで、ファンデーションがしっかりと肌に密着し、汗に強い仕上がりになります。

■目力を出すポイント

目力を出すポイントはアイライナーです。ブラックのアイライナーを上下にしっかり入れます。上まぶたの目尻には、妖精の羽を描くように、何本か線を足して描くと、さらに目が大きく見えます。最後に上下のまつ毛にブラックのマスカラをたっぷりつけ、目力を更にアップさせます。

■立体感を出すポイント

目もとや口もとのメイクをする前に、ベースメイクの段階で立体感を出しておくのがポイントです。ハイライトを額や鼻筋、頬骨などの高い部分にのせて、明るく高く見えるようにします。そして、頬に、明るい色のチークをのせて血色を加えます。



フェアリー ジャパン POLA オフィシャルパートナー ポーラ活動資料

株式会社ポーラは、輝く女性の生き方を応援し、美しく豊かな社会づくりに貢献できる企業を目指しています。

その企業活動の一環として、夢に向かって頑張る女性たちをサポートしていきたいという思いから、2007年8月より新体操ナショナル選抜団体チーム「フェアリー ジャパン POLA」オフィシャルパートナーとしてビューティーサポート活動を行っています。2014年8月からは、新体操への支援をさらに強化すべく、個人日本代表選手までサポート活動を広げました。

ポーラでは、ビューティーサポート活動として、社内から選ばれた6名の「フェアリー ジャパン POLA」専属の美容コーチたちが、3ヶ月に一度、選手一人ひとりの肌に向き合い、ポーラ独自の分析技術を用いて解析し、その結果に基づいて、256万通りの組み合わせを有するブランド「アベックス」から、今、まさに選手の肌に必要なスキンケアアイテムを提供しています。さらに過酷な環境下でも健やかな素肌を保てるように、きめ細やかなスキンケアアドバイスも行っています。

また、メイクは選手の表情を美しく豊かにし、自信を持って演技に取り組める重要な要素と捉え、毎年、世界選手権大会に向けてその年の演技のテーマや曲調に合わせたメイクプランを考案。選手が自分自身でメイクを施せるようになるために、メイクレクチャー会も開催し、一人ひとりの顔立ちに合ったメイクをマンツーマンで指導しています。

さらに、各地の新体操イベントや新体操スクールへ訪問し、子どもたちや保護者の方々へフェアリーメイクをレクチャー。メイクを通じて、新体操の新たな楽しさを広げる活動も行っています。

ポーラが長年培ってきた美容の知識とスキンケアやメイクの技術、そして一人ひとりに向き合ったパーソナルなサービス、これらポーラならではの強みを活かしたサポートで、芸術性が求められる新体操選手たちに寄り添い、貢献し、彼女たちが世界の舞台で美しく輝けるよう、これからもポーラは、応援し続けてまいります。

ビューティーサポート活動風景



スキンチェック (肌分析)

定期的に肌の状態を分析して、カウンセリングを行い、一人ひとりの肌に合わせたスキンケア製品を提供しています。



メイク講習会

選手が自身でメイクを完成できるよう、選手それぞれの顔立ちに合わせたメイク方法を細かく指導します。



メイク開発

使用する音楽や衣装に合わせてメイクパターンを開発します。15m先の審判員からも美しく見えるように検証を行います。



子どもたちへのメイクレクチャー会

選手が実際に使用しているメイクアイテムを使って体験。保護者の方々からは熱心な質問もいただきます。



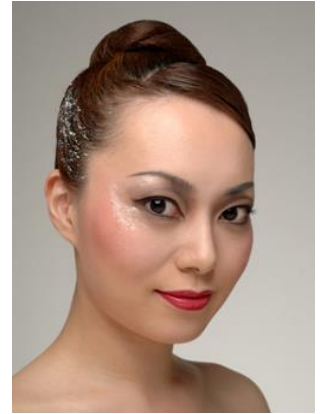
FAIRY JAPAN
POLA

フェアリー ジャパン POLA メークの歴史

2008年 Rising Beauty

“世界の頂点へと導く美しさ”

ポイント①光の上昇ライン：“プリズムライン”
ポイント②“日本の伝統色”：白・黒・赤



2009年 Emotional Beauty

“魅せる大人の情熱美”

ポイント①表情の変化を際立たせる力強い眉：“シャープアイブロー”
ポイント②大人の女性の魅力を引き立てる唇：“パッションレッド”
ポイント③妖精の羽のように描くライナー：“フェアリーライン”



2010年 The Queen

“纏う、揺るぎないオーラ。極める、美しさへの自信”

ポイント①スモーキィなブラウンで目元の彫りを強調：アイカラー
ポイント②演技に込めた芯の強さを表現する瞳へ：“フェアリーライン”
ポイント③青みがかったレッドが肌色を際立たせる：“クイーンレッド”



2011年 POWER OF BEAUTY

“揺るぎない美と自信をまとい、五輪出場権獲得を目指す”

ポイント①フェアリーラインを引き立たせるスカイブルー：アイカラー
ポイント②世界へ羽ばたくフェアリーを表現：“フェアリーライン”
ポイント③世界の頂点を目指す強い意志を表現：“ジャパニーズレッド”



フェアリー ジャパン POLA メークの歴史

2012年 JAPANESE BEAUTY

“日本女性の美しさを世界の舞台へ”

- ポイント①日本人女性の持つ生命力や優しさ、優美さをより魅力的に演出するためにローズ系のブラウンをチョイス：アイカラー
- ポイント②妖精の羽のように目尻にラインを描くことで目の縦幅と横幅を出し、“目力”を強調：“フェアリーライン”
- ポイント③日本人に最も似合う青みのない鮮やかな真紅のリップで日本代表としての強い意志と自信を表現。メダルへの想いを込め、ゴールドのグロスで輝きをプラス：“ジャパニーズレッド”



2013年 FRESH BEAUTY

“新生フェアリー ジャパン POLAのフレッシュな輝きを世界で魅せる”

- ポイント①繊細でダイナミックにアイラインを仕上げることで“目力”を強調：“フェアリーライン”
- ポイント②メダルへの想いを込め、ゴールドのグロスで輝きをプラス：リップ
- ポイント③明るいピンクのチークで生き生きとした表情を引き出す：フェイスカラー



2014年 ELEGANT BEAUTY

“女性らしい曲線フォルムと上品なピンクのチークとリップで大人の魅力を表現”

- ポイント①目の縦幅と横幅を強調。曲線のフォルムを意識して描く事で、エレガントな大人の女性の魅力を表現。：“フェアリーライン”
- ポイント②選手全員の顔が同じに見え、“目力”をアップするため、まぶたにダブルアイラインを採用。：“ダブルアイライン”
- ポイント③明るく透明感のあるピンクのチークで女性らしさを引き立てる。：フェイスカラー



2015年 ドラマティック 美

“フェアリーラインとポイントカラーで少女らしい明るさと華やかさを表現”

- ポイント①目の縦幅を強調。曲調に合わせて下まぶたにもフェアリーラインを。より力強い目元に。：“フェアリーライン”
- ポイント②ピンクとコーラルのチークの2色使いで華やかさを盛り上げ、ヘルシーな印象へ：フェイスカラー
- ポイント③選手全員の顔が同じに見え、より自然な立体感を出すためまぶたにダブルアイラインを採用。：“ダブルアイライン”

